

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	音響基礎	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	辻田勝宣	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
アーティスト楽曲REC、MIX、Mastering TV、CM用楽曲REC、MIX、Mastering パチンコ、パチスロ遊戯台用楽曲作成 Vtuber配信動画用音声編集			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
①音とは何かを理解する ②電気の基本を理解する ③各種機材への理解を深める ④音響心理について理解する			
[授業全体の内容の概要]			
①音の仕組みについて ②電気の仕組みについて ③各種ケーブル、コネクタについて ④各種機材の構造、使用方法			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
音響基礎理論を身につける。			
[準備学習の具体的な内容]			
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト 音響映像設備マニュアル(リットミュージック) 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	音の仕組み		
2回	音の3大要素		
3回	音場		
4回	ステレオ空間とサラウンド		
5回	音場心理とその効果		

6回	電気の知識とは
7回	電気の基礎法則
8回	まとめと振り返り
9回	デジタルの基礎知識
10回	デジタル信号
11回	タイムコードの歴史と種類
12回	デジタルオーディオ信号の伝送と同期
13回	サンプラーの機能と使い方
14回	記録メディアについて
15回	まとめと振り返り
16回	音声ファイル形式
17回	音声圧縮技術
18回	CDマスタリング
19回	ミキシングコンソール
20回	ノンリニアデジタルレコーダー
21回	DAWについて
22回	まとめと振り返り
23回	エフェクター（ダイナミック系）
24回	エフェクター（空間系）
25回	スタジオモニターについて
26回	ケーブル、コネクタの種類と規格①
27回	ケーブル、コネクタの種類と規格②
28回	機器の基本的メンテナンスについて①
29回	機器の基本的メンテナンスについて②
30回	まとめと振り返り